

## 気象警報・注意報時系列情報（R06）のXMLフォーマット解説

気象警報・注意報時系列情報（R06）XMLの構造は気象庁防災情報XMLフォーマットに従います。本解説の内容は今後の運用の変更に伴って変わる可能性があります。

本資料中で用いる用語について

- ・「前回電文」とは、参照中の電文（当該電文）と、情報名称（Control/Title）、運用種別（Control/Status）及び発信官署（Control/EditorialOffice）が同一である電文の中で、発表時刻（Head/ReportDateTime）が当該電文の直近過去である電文を指す。
- ・本資料中で参照しているコードに関する表番号は、気象庁防災情報XMLフォーマット辞書・コード管理表中の番号である。
- ・「府県予報区等」は、次の場合を除き、府県予報区を指す。
  - ・北海道（宗谷地方、及び網走・北見・紋別地方を除く）については、一次細分区域を用いる。
  - ・鹿児島県については、「鹿児島県（奄美地方除く）」又は「奄美地方」を用いる。
- ・「一次細分区域等」は、原則として一次細分区域を指す。
- ・「市町村等をまとめた地域等」は、原則として市町村等をまとめた地域を指す。ただし、市町村等をまとめた地域の設定がない場合には、一次細分区域を指す。
- ・「気象警報・注意報」は、気象特別警報、気象危険警報、気象警報及び気象注意報をまとめて示す。

## 気象警報・注意報（R06）の全体構成

気象警報・注意報（R06）は、以下の電文により構成される。

対象	電文の概要	データ種類コード (TTAAii)	Control/Title
	大雨に関する警戒レベル情報	VPWW55	“気象警報・注意報（R06）（大雨）”
	土砂災害に関する警戒レベル情報	VPWW56	“気象警報・注意報（R06）（土砂）”
	高潮に関する警戒レベル情報	VPWW57	“気象警報・注意報（R06）（高潮）”
	暴風・暴風雪に関する警報・注意報	VPWW58	“気象警報・注意報（R06）（暴風）”
	波浪に関する警報・注意報	VPWW59	“気象警報・注意報（R06）（波浪）”
	大雪に関する警報・注意報	VPWW60	“気象警報・注意報（R06）（大雪）”
	その他の注意報	VPWW61	“気象警報・注意報（R06）（その他注意報）”
○	警戒・注意事項と各気象要素の予想を時系列とした情報	VPWP50	“気象警報・注意報時系列情報（R06）”
	警戒・注意事項を全要素集約した全国分の通報情報	VPWS50	“気象警報・注意報（R06）（集約通報）”

上記のほか、氾濫に関する警戒レベル情報については、指定河川洪水予報（VXK0ii）及び水位周知河川に関する情報（VXSUii）による。本資料では、上記○印の対象電文について解説を行う。対象以外の電文については、気象警報・注意報（R06）解説資料を参照。

気象警報・注意報（データ種類コード：VPWW55～61）に関する危険度や量的見積もりに関する要素を時系列とした予測情報について、時系列情報（データ種類コード：VPWP50 として発表する）。時系列情報は、発表中又は今後発表されうる気象警報・注意報に関する予測の情報であり、本情報をもって気象警報・注意報の発表状況を示すものではないことに留意する。これらの各電文が対象とする内容については、別表1のとおり。

時系列情報は、以下の時間（正時）までに1日4回定時発表する。

5時、11時、17時、23時（日本時間）

気象状況の大幅な変化により、定時発表の予測を変更する必要がある場合には、随時、定時発表情報の修正発表を行う。修正発表は気象要素単位であり、予測修正を行った要素以外は定時又は前回までの修正発表から変更を行わない。修正要素と修正時刻は各気象要素のKind/DateTime値で確認できる（対象項目を参照）。

各予測値は時系列の時間幅（例えば3時間）で起こりうる予測最大値（湿度要素を除く）を示したものであり、気象警報・注意報の発表により発表時点での実況や予測を反映した修正発表を必ずしも行うものではない。また、過去の事象に対する修正は原則行わない。

時系列情報は常時、全要素更新提供されていることから、目先1両日程度の気象状況の推移把握に利用することを想定しており、実際の気象警報・注意報発表により、時系列情報に記載されている予測時系列上の時間的推移状況に当てはめていく利用を想定している。

# 気象警報・注意報時系列情報（R06）の解説

## 1. Control 部

```
<Control>
  <Title>気象警報・注意報時系列情報（R06）</Title>
  <DateTime>2020-06-21T20:00:00Z</DateTime>
  <Status>通常</Status>
  <EditorialOffice>稚内地方気象台</EditorialOffice>
  <PublishingOffice>稚内地方気象台</PublishingOffice>
</Control>
```

### 1 - 1 Title

電文の種別を示すための情報名称。

〔解説〕 “気象警報・注意報時系列情報（R06）” を記載する。

### 1 - 2 DateTime

発信時刻。

〔解説〕 年月日時分秒を UTC 表記の dateTime 型で記載する。

### 1 - 3 Status

運用種別。

〔解説〕 “通常”、“訓練”、“試験” のいずれかを記載。

### 1 - 4 EditorialOffice

編集官署名。

〔解説〕 実際に発表作業を行った官署名を示す。

### 1 - 5 PublishingOffice

発表官署名。

〔解説〕 業務的に発表した官署名を示す。予測値に共同業務等で連名となる場合でも時系列情報では共同業務の相手機関名を省略する。

## 2. Head 部

```
<Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
  <Title>宗谷地方警戒・注意事項時系列情報</Title>
  <ReportDateTime>2020-06-22T05:00:00+09:00</ReportDateTime>
  <TargetDateTime>2020-06-22T05:00:00+09:00</TargetDateTime>
  <EventID />
  <InfoType>発表</InfoType>
  <Serial />
  <InfoKind>気象警報・注意報時系列</InfoKind>
  <InfoKindVersion>1.5_0</InfoKindVersion>
  (略)
```

### 2 - 1 Title

情報の標題

〔解説〕 電文が対象とする地域の名称、気象要素の名称に続いて、“警戒・注意事項時系列情報”を記載する。

### 2 - 2 ReportDateTime

発表時刻

〔解説〕 1 発表時刻を JST 表記の dateTime 型で表記する。時刻は分単位で、秒は常に“00”。  
2 修正発表の際、発表時刻を更新する。

### 2 - 3 TargetDateTime

基点時刻

〔解説〕 1 定時の発表時刻を JST 表記の dateTime 型で表記する。  
2 修正発表の際、基点時刻は更新しない。  
3 時系列の時間等形式の判別に用いることができる。

### 2 - 4 EventID

識別情報

〔解説〕 常に空要素（空タグ）となる。

### 2 - 5 InfoType

情報形態

〔解説〕 1 “発表”、“訂正”のいずれかを記載。  
2 修正発表は、“発表”とする。

### 2 - 6 Serial

情報番号

〔解説〕 常に空要素（空タグ）となる。

### 2 - 7 InfoKind 及び InfoKindVersion

スキーマの運用種別情報（InfoKind）、及びスキーマの運用種別情報のバージョン番号（InfoKindVersion）

〔解説〕 1 InfoKind は、“気象警報・注意報時系列”で固定。  
2 InfoKindVersion には、バージョン番号を文字列で記載する。

### 2 - 8 Headline 部

```
<Headline>
  <Text/>
</Headline>
```

〔解説〕 要素 Text は、常に空要素（空タグ）となる。

### 3. Body 部

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/"
      xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
  <MeteorologicalInfos type="量的予想時系列（市町村等）">
    <TimeSeriesInfo>
      (略)
    </TimeSeriesInfo>
    <TimeSeriesInfo>
      (略)
    </TimeSeriesInfo>
    <TimeSeriesInfo>
      (略)
    </TimeSeriesInfo>
    <TimeSeriesInfo>
      (略)
    </TimeSeriesInfo>
  </MeteorologicalInfos>
</Body>
```

#### 3 - 1 MeteorologicalInfos 部

市町村等に対応する時系列情報 (TimeSeriesInfo 部) を記載する。

```
<MeteorologicalInfos type="量的予想時系列（市町村等）">
  <TimeSeriesInfo>
    <TimeDefines>
      (略)
    </TimeDefines>
    <Item>
      (略)
    </Item>
  </TimeSeriesInfo>
  (略)
```

【解説】 属性 type の値は“量的予想時系列（市町村等）”で固定。

##### 3 - 1 - 1 TimeSeriesInfo 部

時刻定義セット (TimeDefines 部) と予報の内容 (Item 部) を時系列情報として記載する。

【解説】 TimeSeriesInfo 部は、MeteorologicalInfos 以下に時刻定義セットの数だけ出現する。時刻定義セットの出現数は固定。別表 2 参照。

##### 3 - 1 - 1 - 1 TimeDefines 部

全ての予報期間を示すとともに、対応する要素の個々の時刻定義 (TimeDefine 部) を記載する。

```
[予報期間が 3 時間毎の場合の時刻定義]
<TimeDefines>
  <TimeDefine timeId="1">
    <DateTime>2023-06-22T06:00:00+09:00</DateTime>
    <Duration>PT3H</Duration>
    <Name>2 2 日朝</Name>
  </TimeDefine>
  <TimeDefine timeId="2">
    <DateTime>2023-06-22T09:00:00+09:00</DateTime>
    <Duration>PT3H</Duration>
    <Name>2 2 日昼前</Name>
  </TimeDefine>
  (略)
  <TimeDefine timeId="14">
    <DateTime>2023-06-23T21:00:00+09:00</DateTime>
    <Duration>PT3H</Duration>
    <Name>2 3 日夜遅く</Name>
  </TimeDefine>
</TimeDefines>

[予報期間が 24 時間毎で明日までの場合の時刻定義]
<TimeDefines>
  <TimeDefine timeId="1">
    <DateTime>2023-06-22T06:00:00+09:00</DateTime>
    <Duration>PT24H</Duration>
    <Name>2 3 日 0 6 時まで</Name>
  </TimeDefine>
```

```

<TimeDefine timeId="2">
  <DateTime>2023-06-23T00:00:00+09:00</DateTime>
  <Duration>PT24H</Duration>
  <Name>2 3 日</Name>
</TimeDefine>
</TimeDefines>

```

〔予報期間が 1 日毎で明後日までの場合の時刻定義〕

```

<TimeDefines>
  <TimeDefine timeId="1">
    <DateTime>2023-06-22T06:00:00+09:00</DateTime>
    <Duration>PT18H</Duration>
    <Name>2 2 日</Name>
  </TimeDefine>
  <TimeDefine timeId="2">
    <DateTime>2023-06-23T00:00:00+09:00</DateTime>
    <Duration>PT24H</Duration>
    <Name>2 3 日</Name>
  </TimeDefine>
  <TimeDefine timeId="3">
    <DateTime>2023-06-24T00:00:00+09:00</DateTime>
    <Duration>PT24H</Duration>
    <Name>2 4 日</Name>
  </TimeDefine>
</TimeDefines>

```

〔解説〕 1 TimeDefines 部は TimeSeriesInfo 以下に 1 回出現する。

2 時刻定義の方法は、時系列情報の定時発表時刻（Head 部の TargetDateTime の時刻）と対応する要素に応じて決まる。定時発表時刻と各要素に対応する時刻定義の内容は別表 2 のとおり。

### 3 - 1 - 1 - 1 - 1 TimeDefine 部

同一の TimeSeriesInfo 部で、気象要素の時系列での参照番号(refID)として用いるための時刻 ID を属性 timeID で記述し、基点時刻(DateTime)、対象期間(Duration)、時刻定義の内容(Name)を記載する。

〔解説〕 1 属性 timeID の値は、“1” から始まり、終わりは定時発表時刻と TimeSeriesInfo の出現順に応じて次のとおりとなる。

TimeSeriesInfo の出現順	5 時予報	11 時予報	17 時予報	23 時予報
1	14	12	10	8
2	2	2	2	2
3	3	3	3	2

2 DateTime は TimeDefine 以下に 1 回出現し、時刻定義の基点時刻を JST 表記の dateTime 型で記載する。

3 Duration は TimeDefine 以下に 1 回出現し、時刻定義における基点時刻からの期間を記載する。とりうる値は次のとおり。

PT3H：予報期間を 3 時間と定義する場合  
 PT6H：予報期間を 6 時間と定義する場合  
 PT12H：予報期間を 12 時間と定義する場合  
 PT18H：予報期間を 18 時間と定義する場合  
 PT24H：予報期間を 24 時間と定義する場合  
 P1D：予報期間を 1 日と定義する場合

4 時刻定義の内容は、対象となる予報期間を文章で記載する。3 時間の予報期間を定義した場合は「日付+時間細分の表現」、1 日の予報期間を定義した場合は「日付」とする。時間細分の表現として使用する用語は別表 3 のとおり。

### 3 - 1 - 1 - 2 Item 部

予報の時系列等の内容(Kind 部)と対象地域(Area 部)を記載する。

```

<Item>
  <Kind>

```

<pre> &lt;Status&gt;発表&lt;/Status&gt; &lt;DateTime type="発表時刻"&gt;2023-06-22T05:00:00+09:00&lt;/DateTime&gt; &lt;Property&gt;   &lt;Type&gt;大雨浸水危険度&lt;/Type&gt;   &lt;SignificancePart&gt;     (略)   &lt;/SignificancePart&gt; &lt;/Property&gt; &lt;/Kind&gt; &lt;Kind&gt;   &lt;Status&gt;発表&lt;/Status&gt;   &lt;DateTime type="発表時刻"&gt;2023-06-22T05:00:00+09:00&lt;/DateTime&gt;   &lt;Property&gt;     &lt;Type&gt;雨&lt;/Type&gt;     &lt;PrecipitationPart&gt;       (略)     &lt;/PrecipitationPart&gt;   &lt;/Property&gt; &lt;/Kind&gt; &lt;Area&gt;   &lt;Name&gt;富山市&lt;/Name&gt;   &lt;Code&gt;1620100&lt;/Code&gt; &lt;/Area&gt; &lt;/Item&gt; </pre>	<p>Kind 以下の Property 部の詳細は別表 2 参照。</p> <p>Kind 以下の Property 部の詳細は別表 2 参照。</p>
--	---

### 3 - 1 - 1 - 2 - 1 Kind 部

対象となる市町村等の量的予想事項の情報の発表状況 (Status)、発表時刻 (DateTime) と時系列等 (Property 部) を記載する。

〔解説〕 1 Kind 部は Item 部以下に、別表 2 に応じた数だけ出現する。

2 情報の発表状況 (Status) は、定時の発表、修正発表の状況に応じて次の通り設定する。

発表：本電文において、当該 Kind 部が定時の発表又は修正発表されたことを示す。

継続：本電文において、当該 Kind 部は修正発表されてなく、前回の発表内容を継続していることを示す。

3 当該 Kind 部の発表時刻を DateTime に記載する。Status が“継続”の場合は、過去に遡って最後の発表時刻となる。

### 3 - 1 - 1 - 2 - 1 - 1 Property 部

気象警報・注意報の要素種別ごとに量的予想事項を時系列等で記載する。気象要素の種類 (Type)、気象警報・注意報が対象とする気象現象の危険度時系列 (SignificancePart 部)、予想値の時系列等 (WindDirectionPart 部等) を記載する。

〔解説〕 Property 部は Kind 以下に 1 回以上出現し、各 Property 部に記載する内容は、気象要素の種類 (./Type) に依存する。出現する Property/Type の内容及び組み合わせは、別表 2 のとおり。

### 3 - 1 - 1 - 2 - 1 - 1 - 1 Type

量的予想事項を時系列等で記載する気象要素の種類を記載する。特別警報・警報・注意報種別と記載する気象要素の種類の対応は別表 2 のとおり。

### 3 - 1 - 1 - 2 - 1 - 1 - 2 SignificancePart 部

気象要素に対応した危険度の時系列について諸要素を記載する。

#### 地域の数による記述パターンの違いの例

〔地域全体について記載する場合〕

```

<SignificancePart>
  <Base>
    <Significance type="土砂災害危険度" refID="1">
      <Name>警戒レベル 2 未満</Name>
      <Code>11</Code>
    </Significance>
    <Significance type="土砂災害危険度" refID="2">
      <Name>警戒レベル 2 未満</Name>
      <Code>11</Code>
    </Significance>
  (略)

```

```

    <Significancy type="土砂災害危険度" refID="14">
      <Name>警戒レベル3相当</Name>
      <Code>31</Code>
    </Significancy>
  </Base>
</SignificancyPart>

```

[地域を分けて記載する場合]

```

  <SignificancyPart>
    <Base>
      <Local>
        <AreaName>陸上</AreaName>
        <Significancy type="風危険度" refID="1">
          <Name>注意報級</Name>
          <Code>10</Code>
        </Significancy>
        <Significancy type="風危険度" refID="2">
          <Name>注意報級</Name>
          <Code>10</Code>
        </Significancy>
        (略)
        <Significancy type="風危険度" refID="12">
          <Name>注意報級未満</Name>
          <Code>01</Code>
        </Significancy>
      </Local>
      <Local>
        <AreaName>海上</AreaName>
        <Significancy type="風危険度" refID="1">
          <Name>注意報級</Name>
          <Code>10</Code>
        </Significancy>
        <Significancy type="風危険度" refID="2">
          <Name>注意報級</Name>
          <Code>10</Code>
        </Significancy>
        (略)
        <Significancy type="風危険度" refID="12">
          <Name>注意報級未満</Name>
          <Code>01</Code>
        </Significancy>
      </Local>
    </Base>
  </SignificancyPart>

```

#### 時刻定義の方法による記述パターンの違いの例

[3 時間毎の時刻定義の場合]

```

  <SignificancyPart>
    <Base>
      <Significancy type="波危険度" refID="1">
        <Name>警報級</Name>
        <Code>30</Code>
      </Significancy>
      <Significancy type="波危険度" refID="2">
        <Name>警報級</Name>
        <Code>30</Code>
      </Significancy>
      (略)
      <Significancy type="波危険度" refID="12">
        <Name>注意報級</Name>
        <Code>10</Code>
      </Significancy>
      <Addition>
        <Note>うねり</Note>
      </Addition>
    </Base>
  </SignificancyPart>

```

[1 日毎の時刻定義の場合]



```

<SignificancyPart>
  <Base>
    <Significancy type="乾燥危険度" refID="1">
      <Name>注意報級</Name>
      <Code>10</Code>
    </Significancy>
    <Significancy type="乾燥危険度" refID="2">
      <Name>注意報級</Name>
      <Code>10</Code>
    </Significancy>
    <Significancy type="乾燥危険度" refID="3">
      <Name>注意報級</Name>
      <Code>10</Code>
    </Significancy>
  </Base>
</SignificancyPart>

```

- 〔解説〕 1 Base 以下に、危険度（Significancy/Name）と当該危険度に対応するコード（Significancy/Code）を記載する。付加事項（Addition 部）を記載することがある。地域を分けて危険度を記載する場合には、Base/Local 以下に、地域名（AreaName）、危険度（Significancy/Name）、及び当該危険度に対応するコード（Significancy/Code）を記載する。付加事項（Addition 部）を記載することがある。Local は記載する地域の数だけ繰り返すが、一部の地域を記載しない場合がある。危険度とコードの対応は別表 4 のとおり。
- 2 当該危険度の際して付加事項が付される場合、Addition/Note に当該危険度種別の付加事項を Note に記載する。複数ある場合は、Note を必要回数繰り返す。
- 3 危険度の属性 type は危険度の種類、属性 refID は時刻定義セットにおける参照番号を記載し、個数については 3 - 1 - 1 - 1 - 1 TimeDefine 部の解説を参照。各気象要素名と危険度の属性 type の値は別表 2 のとおり。

### 3 - 1 - 1 - 2 - 1 - 1 - 3 WindDirectionPart 部

風向の時系列について諸要素を記載する。

〔地域全体について記載する場合〕

```

<WindDirectionPart>
  <Base>
    <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8 方位漢字" refID="1" condition="風雪" description="西の風">西
  </jmx_eb:WindDirection>
    <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8 方位漢字" refID="2" condition="風雪" description="西の風">西
  </jmx_eb:WindDirection>
    (略)
    <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8 方位漢字" refID="12" description="西の風">西</jmx_eb:WindDirection>
  </Base>
</WindDirectionPart>

```

〔地域を分けて記載する場合〕

```

<WindDirectionPart>
  <Base>
    <Local>
      <AreaName>陸上</AreaName>
      <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8 方位漢字" refID="1" description="西の風">西</jmx_eb:WindDirection>
      <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8 方位漢字" refID="2" description="南西の風">南西</jmx_eb:WindDirection>
      (略)
      <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8 方位漢字" refID="12" description="南の風">南</jmx_eb:WindDirection>
    </Local>
    <Local>
      <AreaName>海上</AreaName>
      <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8 方位漢字" refID="1" description="西の風">西</jmx_eb:WindDirection>
      <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8 方位漢字" refID="2" description="西の風">西</jmx_eb:WindDirection>
      (略)
      <jmx_eb:WindDirection type="風向" unit="8 方位漢字" refID="12" condition="値なし" />
    </Local>
  </Base>
</WindDirectionPart>

```

- 〔解説〕 1 風について、卓越風向（Base/WindDirection）を記載する。地域を分けて風向を記載する場合には、Base/Local 以下に、地域名（AreaName）と風向（WindDirection）を記載する。Local は記載する地域の数

だけ繰り返すが、一部の地域を記載しない場合がある。

- 2 風向 (WindDirection) については、8 方位の漢字表現を用いる。属性 type は“風向”、属性 unit は“8 方位漢字”の固定。属性 refID は時刻定義セットにおける参照番号を記載し、個数については 3 - 1 - 1 - 1 - 1 TimeDefine 部の解説を参照。属性 condition は当該 refID に対応する時間帯の風危険度を表すコードが“00”、“01”、“11”である場合に“値なし”を記載することがある。また、当該 refID に対応する時間帯に雪を伴う場合は“風雪”を記載する。属性 description に風向の文字列表現を記載する。

### 3 - 1 - 1 - 2 - 1 - 1 - 4 WindSpeedPart 部

風速の時系列について諸要素を記載する。

[地域全体について記載する場合]

```
<WindSpeedPart>
  <Base>
    <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" refID="1" description="1 2メートル">12</jmx_eb:WindSpeed>
    <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" refID="2" description="1 2メートル">12</jmx_eb:WindSpeed>
    (略)
    <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" refID="14" description="1 2メートル">12</jmx_eb:WindSpeed>
  </Base>
</WindSpeedPart>
```

[地域を分けて記載する場合]

```
<WindSpeedPart>
  <Base>
    <Local>
      <AreaName>陸上</AreaName>
      <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" refID="1" description="1 2メートル">12</jmx_eb:WindSpeed>
      <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" refID="2" condition="風雪" description="1 2メートル">12</jmx_eb:WindSpeed>
      (略)
      <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" refID="14" description="1 2メートル">12</jmx_eb:WindSpeed>
    </Local>
    <Local>
      <AreaName>海上</AreaName>
      <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" refID="1" description="2 0メートル">20</jmx_eb:WindSpeed>
      <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" refID="2" description="2 0メートル">20</jmx_eb:WindSpeed>
      (略)
      <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" refID="14" description="2 0メートル">20</jmx_eb:WindSpeed>
    </Local>
  </Base>
</WindSpeedPart>
```

[解説] 1 風について、最大風速 (Base/WindSpeed) を記載する。地域を分けて最大風速を記載する場合には、Base/Local 以下に、地域名 (AreaName) と最大風速 (WindSpeed) を記載する。Local は記載する地域の数だけ繰り返すが、一部の地域を記載しない場合がある。

- 2 風速 (WindSpeed) には最大風速を記載する。属性 type は“最大風速”、属性 unit は“m/s”の固定。属性 refID は時刻定義セットにおける参照番号を記載し、個数については 3 - 1 - 1 - 1 - 1 TimeDefine 部の解説を参照。属性 condition は、“以下”、“未満”を記載することがあり、当該 refID に対応する時間帯の危険度を表すコードが“00”、“01”、“11”である場合に“値なし”を記載することがある。また、当該 refID に対応する時間帯に雪を伴う場合は“風雪”を記載する。属性 description に最大風速の文字列表現を記載する。

### 3 - 1 - 1 - 2 - 1 - 1 - 5 WaveHeightPart 部

波高の時系列について諸要素を記載する。

[海域全体について記載する場合]

```
<WaveHeightPart>
  <Base>
    <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" refID="1" description="1. 5メートル">1.5</jmx_eb:WaveHeight>
    <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" refID="2" description="1. 5メートル">1.5</jmx_eb:WaveHeight>
    (略)
    <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" refID="12" description="3メートル">3</jmx_eb:WaveHeight>
  </Base>
</WaveHeightPart>
```

[海域を分けて記載する場合]

```

<WaveHeightPart>
  <Base>
    <Local>
      <AreaName>内海</AreaName>
      <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" refID="1" description="1. 5メートル">1.5</jmx_eb:WaveHeight>
      <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" refID="2" description="1. 5メートル">1.5</jmx_eb:WaveHeight>
      (略)
      <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" refID="12" description="1. 5メートル">1.5</jmx_eb:WaveHeight>
    </Local>
    <Local>
      <AreaName>外海</AreaName>
      <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" refID="1" description="2. 5メートル">2.5</jmx_eb:WaveHeight>
      <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" refID="2" description="2. 5メートル">2.5</jmx_eb:WaveHeight>
      (略)
      <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" refID="12" description="2. 0メートル">2.0</jmx_eb:WaveHeight>
    </Local>
  </Base>
</WaveHeightPart>

```

〔高潮のうちあげ高水位を記載する場合〕

```

<Property>
  <Type>高潮</Type>
  <WaveHeightPart>
    <Base>
      <Local>
        <AreaName>〇〇海岸</AreaName>
        <jmx_eb:WaveHeight type="うちあげ高水位" unit="m" refID="1" description="1. 5メートル">1.5</jmx_eb:WaveHeight>
        <jmx_eb:WaveHeight type="うちあげ高水位" unit="m" refID="2" description="1. 8メートル">1.8</jmx_eb:WaveHeight>
        (略)
        <jmx_eb:WaveHeight type="うちあげ高水位" unit="m" refID="14" condition="値なし" ></jmx_eb:WaveHeight>
      </Local>
    </Base>
  </WaveHeightPart>
</Property>

```

- 〔解説〕 1 波について、波高 (Base/WaveHeight) を記載する。指定した海岸の予報区間又は海域（以下本項で「海域等」という。）を分けて波高を記載する場合には、Base/Local 以下に、海岸の予報区間名又は海域名 (AreaName) と波高 (WaveHeight) を記載する。Local は記載する海域等の数だけ繰り返すが、一部の海域等を記載しない場合がある。
- 2 波浪の波高には最大波高を記載する。属性 type は“波高”、属性 unit は“m”の固定。属性 refID は時刻定義セットにおける参照番号を記載し、個数については 3 - 1 - 1 - 1 - 1 TimeDefine 部の解説を参照。属性 condition は、“以下”、“未満”を記載することがあり、当該 refID に対応する時間帯の危険度を表すコードが“00”、“01”、“11”である場合に“値なし”を記載することがある。属性 description に最大波高の文字列表現を記載する。
- 3 うちあげ高の水位には最高うちあげ高水位を記載する。属性 type は“うちあげ高水位”、属性 unit は“m”の固定。属性 refID は時刻定義セットにおける参照番号を記載し、個数については 3 - 1 - 1 - 1 - 1 TimeDefine 部の解説を参照。属性 condition は、“以下”、“未満”を記載することがあり、当該 refID に対応する時間帯の危険度を表すコードが“00”、“01”、“11”である場合に“値なし”を記載することがある。属性 description に水位の文字列表現を記載する。
- 4 高潮のうちあげ高の水位に際して、当該細分区の海域のうち、指定した海岸の予報区間（複数ある場合はその全て）以外の海域を示すために“(高潮予報区間以外)”を AreaName に用いる。

### 3 - 1 - 1 - 2 - 1 - 1 - 6 PrecipitaionPart 部

雨量の時系列について諸要素を記載する。

```

<PrecipitationPart>
  <Base>
    <jmx_eb:Precipitation type="1 時間最大雨量" unit="mm" refID="1" description="0 ミリ">0</jmx_eb:Precipitation>
    <jmx_eb:Precipitation type="1 時間最大雨量" unit="mm" refID="2" description="2 0 ミリ">20</jmx_eb:Precipitation>
    (略)
    <jmx_eb:Precipitation type="1 時間最大雨量" unit="mm" refID="12" description="6 0 ミリ">60</jmx_eb:Precipitation>
  </Base>
</PrecipitationPart>

```

```

<PrecipitationPart>
  <Base>
    <jmx_eb:Precipitation type="2 4時間最大雨量" unit="mm" refID="1" description="0 ミリ">0</jmx_eb:Precipitation>
    <jmx_eb:Precipitation type="2 4時間最大雨量" unit="mm" refID="2" description="3 0 ミリ">30</jmx_eb:Precipitation>
  </Base>
</PrecipitationPart>

```

〔解説〕 1 雨について、最大雨量（Base/Precipitation）を記載する。

2 雨量（Precipitation）には最大雨量を記載する。属性 type は最大雨量の種類を表し、“1 時間最大雨量”または“2 4 時間最大雨量”を記載する。同一地域、同一時刻定義セットで複数の属性 type の値を出現させる場合は、値ごとに個別の PrecipitationPart 部を記載する。属性 unit は“mm”の固定。属性 refID は時刻定義セットにおける参照番号を記載し、個数については 3 - 1 - 1 - 1 - 1 TimeDefine 部の解説を参照。属性 condition は、“以下”、“未満”を記載することがあり、当該 refID に対応する時間帯の危険度を表すコードが“00”、“01”、“11”である場合に“値なし”を記載することがある。属性 description に最大雨量の文字列表現を記載する。

### 3 - 1 - 1 - 2 - 1 - 1 - 7 SnowfallDepthPart 部

降雪量について諸要素を記載する。

〔地域全体について降雪量を記載する場合〕

```

<SnowfallDepthPart>
  <Base>
    <jmx_eb:SnowfallDepth type="6時間最大降雪量" unit="cm" refID="1" description="4 0センチ">40</jmx_eb:SnowfallDepth>
    <jmx_eb:SnowfallDepth type="6時間最大降雪量" unit="cm" refID="2" description="4 0センチ">40</jmx_eb:SnowfallDepth>
    (略)
    <jmx_eb:SnowfallDepth type="6時間最大降雪量" unit="cm" refID="12" description="6 0センチ">60</jmx_eb:SnowfallDepth>
  </Base>
</SnowfallDepthPart>

```

〔地域を分けて降雪量を記載する場合〕

```

<SnowfallDepthPart>
  <Base>
    <Local>
      <AreaName>山地</AreaName>
      <jmx_eb:SnowfallDepth type="2 4時間最大降雪量" unit="cm" refID="1" description="9 0センチ">90</jmx_eb:SnowfallDepth>
      <jmx_eb:SnowfallDepth type="2 4時間最大降雪量" unit="cm" refID="2" description="9 0センチ">90</jmx_eb:SnowfallDepth>
    </Local>
    <Local>
      <AreaName>平地</AreaName>
      <jmx_eb:SnowfallDepth type="2 4時間最大降雪量" unit="cm" refID="1" description="4 0センチ">40</jmx_eb:SnowfallDepth>
      <jmx_eb:SnowfallDepth type="2 4時間最大降雪量" unit="cm" refID="2" description="4 0センチ">40</jmx_eb:SnowfallDepth>
    </Local>
  </Base>
</SnowfallDepthPart>

```

〔解説〕 1 雪について、予報期間を通じた最大降雪量（Base/SnowfallDepth）を記載する。地域を分けて最大降雪量を記載する場合には、Base/Local 以下に、地域名（AreaName）と最大降雪量（SnowfallDepth）を記載する。Local は記載する地域の数だけ繰り返すが、一部の地域を記載しない場合がある。

2 降雪量（SnowfallDepth）には最大降雪量を記載する。属性 type は最大降雪量の種類を表し、“6 時間最大降雪量”、“1 2 時間最大降雪量”、“2 4 時間最大降雪量”等を記載する。同一地域、同一時刻定義セットで複数の種類の最大降雪量を記載する場合には、SnowfallDepth を記載する最大降雪量の種類の数だけ繰り返す。属性 unit は“cm”の固定。属性 refID は時刻定義セットにおける参照番号を記載し、個数については 3 - 1 - 1 - 1 - 1 TimeDefine 部の解説を参照。属性 condition は、“以下”、“未満”を記載することがあり、当該 refID に対応する時間帯の危険度を表すコードが“00”、“01”、“11”である場合に“値なし”を記載することがある。属性 description に最大降雪量の文字列表現を記載する。

### 3 - 1 - 1 - 2 - 1 - 1 - 8 HumidityPart 部

湿度の時系列について諸要素を記載する。

```

<HumidityPart>
  <Base>
    <jmx_eb:Humidity type="実効湿度" unit="%" refID="1" description="6 0パーセント">60</jmx_eb:Humidity>

```

```

<jmx_eb:Humidity type="実効湿度" unit="%" refID="2" description="60パーセント">60</jmx_eb:Humidity>
<jmx_eb:Humidity type="実効湿度" unit="%" refID="3" condition="値なし"></jmx_eb:Humidity>
</Base>
</HumidityPart>
<HumidityPart>
  <Base>
    <jmx_eb:Humidity type="最小湿度" unit="%" refID="1" description="30パーセント">30</jmx_eb:Humidity>
    <jmx_eb:Humidity type="最小湿度" unit="%" refID="2" description="30パーセント">30</jmx_eb:Humidity>
    <jmx_eb:Humidity type="最小湿度" unit="%" refID="3" condition="値なし"></jmx_eb:Humidity>
  </Base>
</HumidityPart>

```

〔解説〕 1 乾燥について、湿度（Base/Humidity）に実効湿度、最小湿度を記載する。地域を分けて湿度を記載する場合には、Base/Local 以下に、地域名（AreaName）と湿度（Humidity）を記載する。Local は記載する地域の数だけ繰り返すが、一部の地域を記載しない場合がある。また、実効湿度のみ、最小湿度のみの記載となる場合もある。

2 湿度（Humidity）の属性 type には“実効湿度”または“最小湿度”を記載する。同一地域で複数の属性 type の値を出現させる場合は、HumidityPart 部を繰り返す。属性 unit は“%”の固定。属性 refID は時刻定義セットにおける参照番号を記載し、個数については 3 - 1 - 1 - 1 - 1 TimeDefine 部の解説を参照。属性 condition は、当該 refID に対応する時間帯の危険度を表すコードが“00”、“01”、“11”である場合に“値なし”を記載することがある。属性 description に湿度の文字列表現を記載する。

### 3 - 1 - 1 - 2 - 1 - 1 - 10 TidalLevelPart 部

潮位の時系列について諸要素を記載する。

#### 地域の数による記述パターンの違いの例

〔地域全体について記載する場合〕

```

<TidalLevelPart>
  <Base>
    <jmx_eb:TidalLevel type="潮位" unit="m" refID="1" description="標高 2.3メートルの高さ">2.3</jmx_eb:TidalLevel>
    <jmx_eb:TidalLevel type="潮位" unit="m" refID="2" description="標高 2.3メートルの高さ">2.3</jmx_eb:TidalLevel>
    (略)
    <jmx_eb:TidalLevel type="潮位" unit="m" refID="12" description="標高 2.3メートルの高さ">2.3</jmx_eb:TidalLevel>
  </Base>
</TidalLevelPart>

```

〔地域を分けて記載する場合〕

```

<TidalLevelPart>
  <Base>
    <Local>
      <AreaName>〇〇海岸</AreaName>
      <jmx_eb:TidalLevel type="潮位" unit="m" refID="1" description="標高 1.9メートルの高さ">1.9</jmx_eb:TidalLevel>
      <jmx_eb:TidalLevel type="潮位" unit="m" refID="2" description="標高 1.9メートルの高さ">1.9</jmx_eb:TidalLevel>
      (略)
      <jmx_eb:TidalLevel type="潮位" unit="m" refID="12" description="標高 1.7メートルの高さ">1.7</jmx_eb:TidalLevel>
    </Local>
    <Local>
      <AreaName>(高潮予報区間以外)</AreaName>
      <jmx_eb:TidalLevel type="潮位" unit="m" refID="1" description="標高 1.5メートルの高さ">1.5</jmx_eb:TidalLevel>
      <jmx_eb:TidalLevel type="潮位" unit="m" refID="2" description="標高 1.5メートルの高さ">1.5</jmx_eb:TidalLevel>
      (略)
      <jmx_eb:TidalLevel type="潮位" unit="m" refID="12" description="標高 1.2メートルの高さ">1.2</jmx_eb:TidalLevel>
    </Local>
  </Base>
</TidalLevelPart>

```

〔解説〕 1 高潮について、潮位（Base/TidalLevel）を記載する。指定した海岸の予報区間又は地域（以下本項で「地域等」という。）を分けて潮位を記載する場合には、Base/Local 以下に、指定した海岸の予報区間名又は地域名（AreaName）と潮位（TidalLevel）を記載する。Local は記載する地域等の数だけ繰り返すが、一部の地域等を記載しない場合がある。

2 潮位（TidalLevel）には最高潮位を記載する。属性 type は“潮位”、属性 unit は“m”の固定。属性 refID は時刻定義セットにおける参照番号を記載し、個数については 3 - 1 - 1 - 1 - 1 TimeDefine 部の解説を参照。属性 condition は、“以下”、“未満”を記載することがあり、当該 refID に対応する時間帯の危険度を表すコードが“00”、“01”、“11”である場合に“値なし”を記載することがある。属

性 description に潮位の文字列表現を記載する。

- 3 潮位に際して、当該細分区の指定した海岸の予報区間（複数ある場合はその全て）以外の地域を示すために“（高潮予報区間以外）”を AreaName に用いる。

### 3 - 1 - 1 - 2 - 2 Area 部

Kind 部で表示する内容の対象となる市町村等の名称 (Name)、コード (Code) を示す。

```
<Area>
  <Name>富山市</Name>
  <Code>1620100</Code>
</Area>
```

- [解説]
- 1 Area は 1 回だけ出現する。
  - 2 Code に用いるコード種別名は“気象・地震・火山情報／市町村等”
  - 3 市町村等の名称と対応するコードは、code.AreaInformationCity（表 1.5.3.2、詳細は別途提示）。